

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。

総会報告の特大号です！

第11回同人総会は26名が出席していこいの村美の山で開催、 2006年総括と2007年活動方針、決算&予算を承認する。 ‘今年も安全登山を第一に楽しく充実した一年にしよう！’

冷たい雨と濃霧に包まれた2006年12月9日(土)、いこいの村美の山において26名の会員が出席(ほかに委任状提出者5名)して第11回同人総会が開催されました。議長(滝沢、木下)と書記(木村)を選出した後、総会議事を討議しました。(詳細は議事録参照)

翌日の武川岳・総会記念ハイクは、冬型の北風吹くなかABパーティ計16名が落ち葉を踏みしめて山頂に登りました。山伏峠で下山するAパーティとさらに伊豆ヶ岳山頂を目指すBパーティと分かれ、伊豆ヶ岳山頂からは、さいたま新都心や新宿副都心の高層ビル群、東京タワー、果ては横浜ランドマークタワーまでハッキリと目視ができ、素晴らしい好展望に満足して下山となりました。

大嶋会長、石川副会長、宮田事務局長の三役と高野、高橋会計監事は留任 事務局は2007年新体制として発足、よろしく願いします。

会長：大嶋博 副会長：石川邦彦 事務局長：宮田幸男 会計監事：高野忠夫、高橋武子
事務局(担当別)…会計(青木)／同人通信(宮田、白根、逸見、栗原、浅古)／遭対基金(須藤裕)
登山時報(木村)／装備(大嶋、駒崎)／データ管理(豊島)／HP(石川)
会場予約(堀、高橋)／新入会員(豊島、須藤裕、木下)
県連関係：理事(大嶋)／評議員(青木)／遭難対策委員(南雲)／山スキーネット(須藤裕、宮田)
女性委員会(未定)／救助隊登録員(浅見、南雲、木下、木村)

登山技術委員会も新体制へ、セルフレスキューを追求しよう

委員長：南雲 副委員長：浅見
技術委員(担当別)…夏山縦走&ハイキング(◎新井、軽石、木村)
沢&岩登り(◎浅見、石川、木下)／積雪期登山(◎大嶋、南雲、福田)
山スキー(◎宮田、須藤裕、木下)

1月例会で各種委員会の希望を取ります

山行企画委 / 学習企画委 / 海外登山委 / 山旅編集委 / 写真展開催委 / 環境考委

自家用自動車運用規程を改正、事故対応のための積立を開始しました

自家用自動車を使用した山行では、これから1人200円を交通費と併せて徴収します。
各山行パーティの会計は、直後の例会で会の会計担当：青木さんに渡してください。

『私たちの山旅』(第15集)発刊する！

「私たちの山旅」第15集が完成しました。編集委員を始め、作成に協力していただいた方、大変ご苦労さまでした。総会時に2冊を配布しましたが、それ以上を希望する方には1冊300円でお渡しします。※完成総部数は150部です。

★★★★★ 2007年活動方針から ★★★★★

会として、個人として‘セルフレスキュー’を追求しよう

‘セルフレスキュー’とは、その現場において、最善の努力や行動を取ることです。今年も例会の学習で、消防署講師による「救急法」、「ロープワーク」、「ビーコン操作」、などを取り上げていく予定です。特に、「ロープワーク」については出来るだけ少人数で全員参加を目指すため、複数回の講習を実施します。

例会後の山行事前打ち合せには、地図を必ず用意をしてルートの把握を

低山ハイクでの道間違い(迷い)が報告されています。‘低山だから’との「油断」ではないかとの指摘もありました。最近、打ち合わせに地図を用意していない方も見受けられます。地形図を読む、登るルートを把握しておくことはセルフレスキューの基本です。

今年も‘一人ひと企画’をすすめよう

「一人ひと企画」「交代でリーダーとなり山行を主宰する」ということの積み重ねが、基本的な力をつけることになるので、今年もこの目標を重視していきます。

今年も残雪期に谷川岳天神尾根で雪上訓練を行います

恒例になっている谷川岳雪上訓練は、時期、豊富な積雪、ロープウェーが利用出来るなど誰もが参加できる条件、山の魅力が整う天神尾根で今年も実施します。雪上歩行の基本とビバーク訓練が中心となります。多くの会員が参加してください。

夏のメイン山行は北アルプスか北海道、合宿は荒川遡行・甲武信岳で

幅広い年齢層の交流山行として、夏は北アルプスか北海道へ、合宿は甲武信岳で行います。合宿の時期については、昨年9月が秋雨の時期と重なるため、6月頃または梅雨明け以降など、技術委員会で検討します。

同人結成10周年記念事業も今秋まで、みんなで盛り上げましょう

今年も「熊谷から見える山を登る」「熊谷から荒川源流を遡る」「10周年記念誌」と記念事業が予定されています。「故村越先生7回忌トレッキング」は8月5～8日にマナリ集中を検討しています。たくさんの方の参加をお願いします。

今年は写真展を開催します

アンケートでも「毎年写真展を実施したい」との意見が多く出されました。会場確保の問題もありますが、今年は写真展を開催する方針で写真展開催委員会において検討していきます。写真山行について、良い候補地がありましたら推薦してください。

新入会員を増やすため、案内パンフ作成と事務局に担当者をおきます

昨年は7名の退会者があり、残念ながら将来にともに登っていきける仲間が減ってしまいました。これまで例会へ見学に来られた方に対して、積極的な入会の働きかけが十分とはいえない状況でした。日帰り山行へのお誘いや同人の紹介など、せっかく参加してくれた方には細かい配慮も必要ではないか、との意見も出されたため、入会案内パンフの作成と男女の入会担当者において新入会員を増やしていきたいと思えます。また、「最近は土日の日帰りハイクが少ない」との意見もあり、これを踏まえ山行企画の提案をお願いします。

…お知らせ…

<会費について> 前回通信でお知らせした記念誌作成に伴う会費アップについては、通常会費の予算内で執行可能となったため、会費は据え置くこととなりました。

<同人通信について> 印刷場所が、南雲事務所からくるみ保育園に変更となりました。

<総会資料の訂正>

「登山計画書の提出と下山報告の徹底」の技術委員両氏の住所&TEK/FAXを訂正してください。

南雲芳夫

浅見政人

年明けとともに、本格的な山スキーシーズンへ！

暖冬予想どおりの暖かい12月で、北アルプスや上越国境の豪雪の山も藪が隠れておらず、なかなか‘まともな粉雪’に巡り逢えませんでした。それでも八甲田山は十分な積雪があるので、心配はいりません。今年も6月の北アルプス針ノ木雪渓までのロングシーズンを、日頃から体カトレーニング、スキー技術UP、雪崩対策、用具管理などをしっかりと行い、充実したものにしましょう。1月例会ではビーコン講習を行います。メンバーは必ず参加してください。

<以下、主要山行予定>

1/5(金)～8(月)	新春山行・八甲田山<宮田>	3/31(土)～1(日)	雪訓・谷川天神尾根<南雲>
1/21(日)	初級山スキー・飯縄山<宮田>	4/中旬	上越朝日岳ナルミス沢<木下>
2/1(木)	見える山・草津白根<木下>	4/下旬	尾瀬至仏山ムジナ沢<大嶋>
2/10(土)～13(火)	北海道ニセコパウダー<宮田>	5/3(木)～6(日)	東北山スキー名山ツアー<大嶋>
2/未定	秘パウダー・稲包山<木下>	5/3(木)～6(日)	黒部源流&水晶岳<宮田>
2 or 3/適期	見える山・浅間山<宮田>	5/未定	見える山・富士山<南雲>
3/4(日)	山スキーネット・湯ノ丸山<須藤>	5/中旬	残雪の飯豊石転沢<宮田>
3/中旬	見える山・仙ノ倉ツゲ沢<宮田>	6/月上旬	滑納め・針ノ木雪渓<宮田>

2007年新春の会山行

- 1 新年恒例初滑り・八甲田山スキーと酸ヶ湯温泉で新春を祝う** [計画者:宮田]
日 程: 1/5(金)～8(月) 1/6 八甲田ロープウェイ周辺滑降 1/7酸ヶ湯～大岳山頂往復
参加者: CL宮田 SL木下 川辺、大嶋、滝沢、豊島、浅見、駒崎、木村
- 2 新春ハイク・西上州、御荷鉾山《見える山》** [計画者:新井]
日 程: 1/10(水) 御荷鉾山で、けんちん汁を囲み新春を祝う
参加者: CL新井 高野、山崎、並木、白根、吉田、川辺、栗原、逸見、大嶋、高橋
- 3 新春の富士見山行・御正体山と御坂黒岳を登る** [計画者:軽石]
日 程: 1/20(土)～21(日) 第1日 御正体山<都留側から往復(5h)>富士山麓民泊
第2日 御坂黒岳<御坂峠から黒岳を回る周回コース(4h)>
参加者: CL軽石 SL新井 吉田、栗原、逸見
- 4 初級山スキー・飯縄山&ビーコン訓練** [計画者:宮田]
日 程: 1/21(日) 戸隠スキー場～瑠璃山～飯縄山～1909mP～飯縄山西登山口～スキー場
参加者: CL宮田 SL大嶋&木下 川辺、豊島、石川、須藤裕、南雲、駒崎、栃原、木村、井上、青島(大宮労山)
- 5 厳冬の北海道・ニセコ激パウダーを滑る<上級>** [計画者:宮田、木下]
日 程: 2/10(土)～13(火) 湯元温泉雪秩父をベースにニセコ山域を登って滑る
参加者: CL宮田 SL木下 大嶋、須藤裕、南雲、浅見、小河(会員外)
- 6 初級冬山・夏沢鉱泉から硫黄岳を目指す** [計画者:登技委・大嶋]
日 程 2/25(土)～26(日) 雪上車にて夏沢鉱泉(泊)～夏沢峠～硫黄岳往復
- 7 早春ハイク・榛名山、相馬岳と二つ岳《見える山》** [計画者:新井]
日 程: 3/5(月) 詳細は例会でお知らせします
参加者: CL新井 高野、堀、吉田、滝沢

▲ ▲ ▲ ▲ 遭対基金の更新、新年度会費の納入を ▼ ▼ ▼ ▼

同人の遭対基金の期限月は2月末日となっていますので、1月例会で必ず手続きを行ってください(担当:須藤裕さんまで)。また、新年度の会費納入も併せてお願いします。

新年例会のお知らせ

2007年1月13日(土) 午後3時30分～ 大里コミュニティセンター
学習:「ビーコン講習」 <講師:木下>

★★★市民ホールは改修工事のため使用できません。会場は旧大里町役場の隣です。

※机上講習のあと屋外で訓練を行います。ビーコンを持っている方は持参してください。

当面の日程等

- 2/3(土) 15:30～ 2月例会 市民ホール(予定) 学習:「一人ひと企画」<講師:豊島>
3/3(土) 15:30～ 3月例会 市民ホール(予定) 学習:未定

『熊谷トレッキング同人第11回定期総会・発言要旨』 [書記：木村]

【新規会員勧誘について】

- 石川：例会に見学者が何名か来たが見学のみで終わっている。入会の意思確認が必要。
- 浅見：会費のこともあるが、このままでは仲間が減ってしまうのが一番の問題。追跡は必要。担当者を設けるのはどうか。山岳雑誌の公募欄に載せるのもありか。
- 事務局：公募については費用3～4万か、どの程度反応あるのか考える必要がある。
- 木下：公募は反応あるときもあれば、全くないこともある。
- 軽石：自分の経験から言えば、見学に来た日に山行への参加も含めて声を掛けるべき。新しい人はいきなり仲間の間には入りづらいと思う。きっかけが欲しいはず。
- 滝沢：今年は一泊山行多かった。新しい人は参加しづらい。日帰り山行の充実を。
- 大嶋：年配の方のこともあわせて考えると、山スキー・沢は厳しい。考慮すべき。
- 事務局：体験版的な山行も用意しておく必要がある。
- 木下：当会のレベルを知ってもらうため、入会案内・パンフレットを用意しよう。アンケートを取ってみてもよい。ホームページのリンクを増やせばインターネット経由の人が増えるかも。(リンクの数が多いと検索したとき上の方にくるため)
- 豊島：取りこし苦労かもしれないが、広く募った場合ツアー会社にならないか心配。意識を持った人に入ってもらいたい。
- 南雲：その点は勧誘の際にはっきり言えばよい。
- 事務局：担当者を決めて検討していきましょう。

【私たちの山旅について】

- 滝沢：編集委員は印刷作業が主で、編集作業はほぼ石川さん一人で行っており多大な苦勞をかけている。改善が必要。
- 石川：概念図は幅7cmなので縮小されても読める大きさに書いてほしい。
- 山行企画について
- 南雲：12月～5月は5割以上山スキーだった。日帰りハイク（見える山）充実のため、山行数の目標を設けてみるのはどうか。
- 新井：土・日の日帰りハイクが少なかった。退会者の退会理由と関係ある？
- 豊島：それがすべてではないが、多少あるようだ。

【予算案について】

- 木村：記念誌の別予算はなしという事でよいか。
- 青木：予算案のとおり、特例として繰越金額を増額し、通常予算の中で対応した。